



算数の研究授業 ～ 4年「式と計算の順じょ」～



最近連続で算数の研究授業を実施しています。今回は4年生です。講師として大津南小学校から福田教頭先生に来ていただきました。今回は、具体例を通して、分配法則について理解することが目標です。「先生は、A店で1こ60円のアイスが5個買いました。B店へ行くと、同じアイスが1こ40円で売られていて、こちらの方がお買い得でした。B店で買うよりもいくら多く払ったことになるでしょう」という問いを、二つの方法で考えます。一つの考え方は、A店で買った総額と、B店で買った総額の差を求める考え方。もう一つは、1このアイスの金額の差を5倍するというもの。答えはどちらも同じですが、その考え方を、筋道を立てて説明し、分配法則について理解を深めます。 $((60 - 40) \times 5 = 60 \times 5 - 40 \times 5)$ 右の写真をご覧くださいと、机の上にタブレットがあります。子供たちはノートに書いた（描いた）自分の考えをタブレットで撮影し、前方にある先生のPCに送信します。子供たちから送られた画像は大型テレビに映し出すことができるので、指導者は、場面に応じ、子供たちに前で自分の画像を見ながら説明させることも可能です。4年生は、自分の意見を言いたいという意欲の高い子供が多く、様々な考えを交流することができました。今後も楽しみです。



巡回演劇公演事前ワークショップ～3・4年生がチャレンジ!!

「子供たちに『本物』をたくさん見せたいな！」という思いで、昨年度、文化庁の事業である「文化芸術による子供育成推進事業」の巡回公演に申し込んだところ、見事当選！東京の「アートインAsibina（あしびな）」という劇団が、「ねこはしる」という演劇を披露してくださいます。本番は10月17日（月）なのですが、事前のワークショップを15日（木）に実施しました。当日の演者さんたちが、3階の音楽室、多目的室を使い、3・4年生を相手に、当日の演劇の一部となるパフォーマンスを指導してくださいました。指導と言っても、子供たちの発想から体の動きでイメージしたいものを創るという活動で、野原の生き物をグループで思い思いに表していました。ひまわり、チューリップ、はと、きつね、とんぼなど・・・子供たちはたいしたもの、協力しながら思い思いに動きを創作していました。（演者の方のアドバイスがとても素敵でした）また、効果音を創るグループもあり、糸、紙コップ、ボールを使って、音が出る装置を作り、風の音などをつくっていました。（実際いろいろな音、大きな音が出て驚きました）すべて当日使います。保護者の方にも別途ご案内しますので、ぜひ見に来てください。また、子供たちが自分を解放し、パフォーマンスを楽しむ姿を見てとても感動しました。子どもの持つ可能性や力を見たような気がしています。



音創作チーム



野原の生き物のイメージを動きに

第1回菊陽中学校区小6交流会が開かれました!

16日（金）の6時間目、本校、北小、中部小、菊陽中をオンラインでつなぎ、半年後の中学校入学に備えて交流会を実施しました。それぞれの学校から、学校や学級についてなど、趣向を凝らした素敵な紹介がありました。本校の児童は、他校の人数の多さに圧倒されている様子でしたが、画面に食い入るように真剣に見ていました。中学校からは、行事の紹介や小学校にはない教科の詳しい説明などがなされました。三校の児童は、感想交流の中で「中学校に行くのが楽しみになった」「早く友達を作りたい」など、前向きな感想を述べていました。現在本校の6年生は10人しかいません。それでも、いろいろなところで、「南小の子供は、数は少ないけど中学校でリーダーシップを発揮したりはっきり意見を言えたりする子供が多かったんだよ」という話をよく聞きます。あと半年、6年生は自分を表現することを恐れることなくどんどん力を付けていってほしいと思っています。（写真は意見交流の場面です）

